

陶芸用電気窯メーカーのアンテック

（岡山県瀬戸内市、末石建三社長）

は家庭向けの火災報知機事業を強化

する。新たにてんぷら油への引火な

どを知らせる家庭用報知機を開発、

今月中旬に発売する。留守中の火災

を携帯電話に知らせる製品も投入す

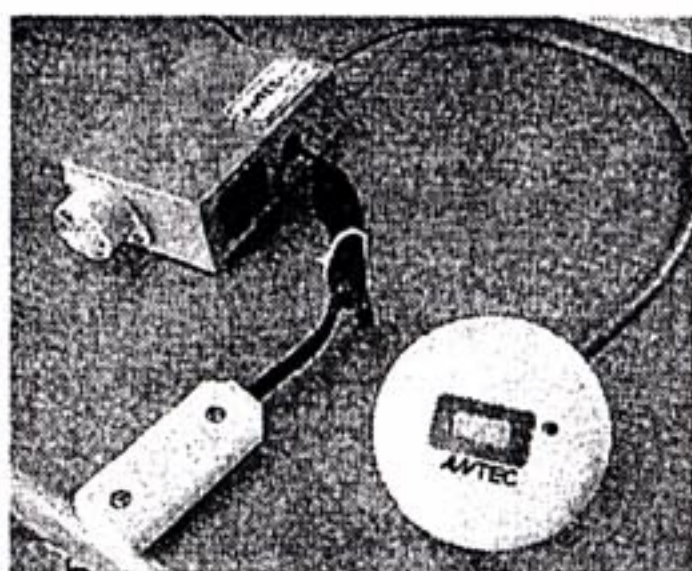
るなど品ぞろえを拡充し、一般家庭

への販売を強化する。

報知機は通常のコンロ

の火から出るような微細

な紫外線には反応しない



一定量の紫外線を直ちに検知する（手前右が新たに開発した報知機）

の時間が短い点が特長だ。報知機の価格は三万円で、初年度五千個の販売を目標とする。

同社の製品にはマッチを擦った際などに起こる

微細な火を検知できる報知機もある。放火検出用

に屋外に設置することも可能。この場合、太陽光

に含まれる紫外線には反

応しないため、誤作動の恐れがない。報知機は全

家庭向け火災報知機拡販

アンテック 油引火素早く検知

国のNTTグループの設

備管理会社が代理店とな

り、通信回線の敷設工事

の際にセット販売してい

るといふ。

このほか不審火を検知

すると同時に、あらかじめ

め登録した携帯電話に自

動で通報したり電子メー

ルを送信したりするシス

テムも完成した。通信シ

ステム開発のパナソニッ

クモバイルコミュニケーションズ

（横浜市）と共

同開発した。

消防法の改正で、二〇

〇六年六月からすべての

新築住宅に火災報知機の

設置が義務づけられるほ

か、既存住宅についても

順次設置義務が生じてく

る。アンテックの末石社

長は「紫外線を検知する

報知機は認知度が低い。

検知速度などの優位性を

PRすることで、販売拡

大につなげたい」として

いる。

平成17年6月10日

日経新聞